

経営比較分析表（令和6年度決算）

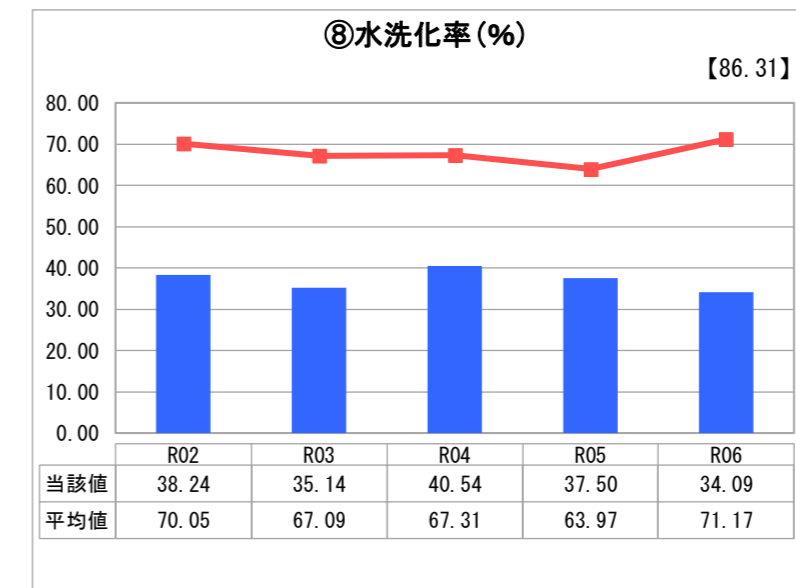
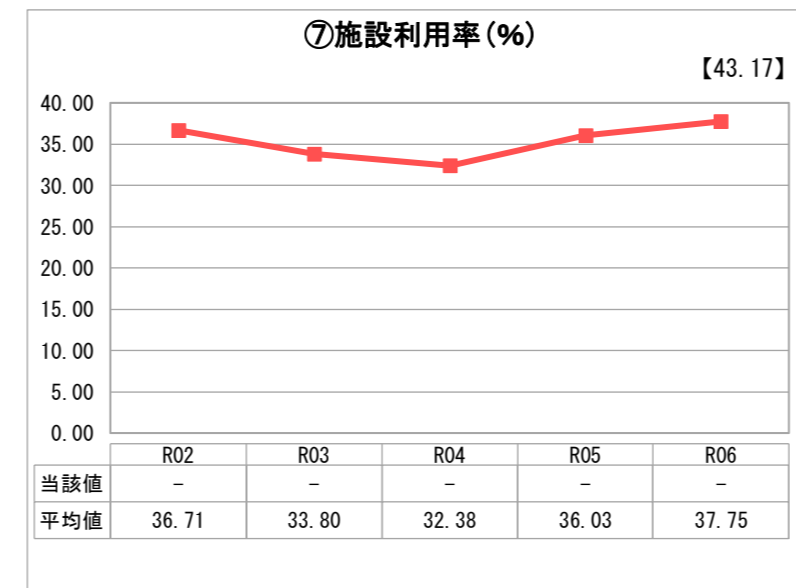
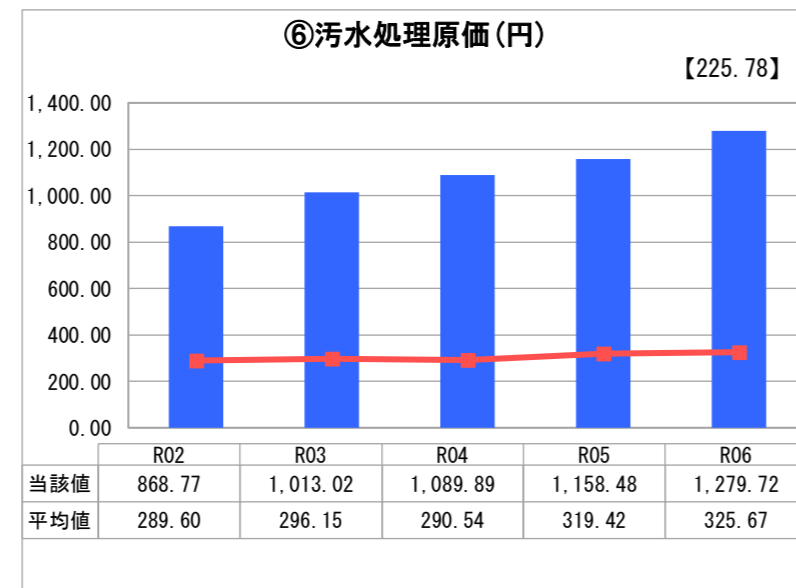
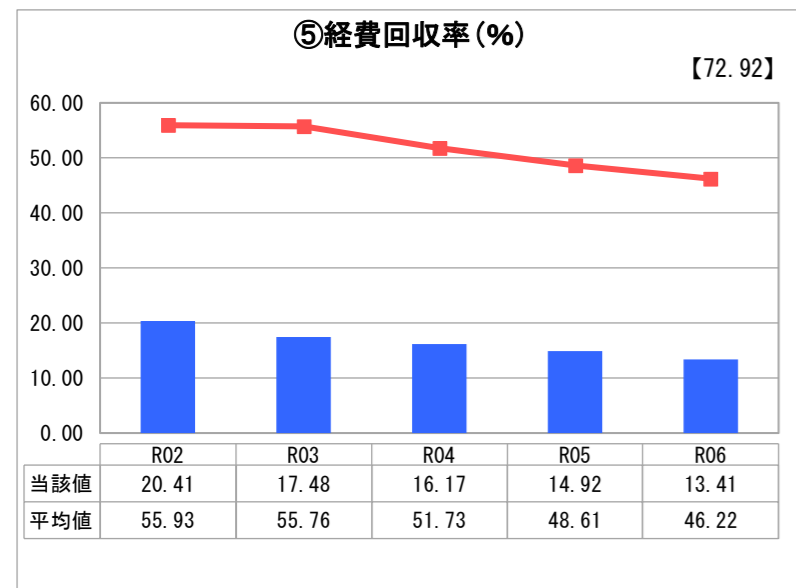
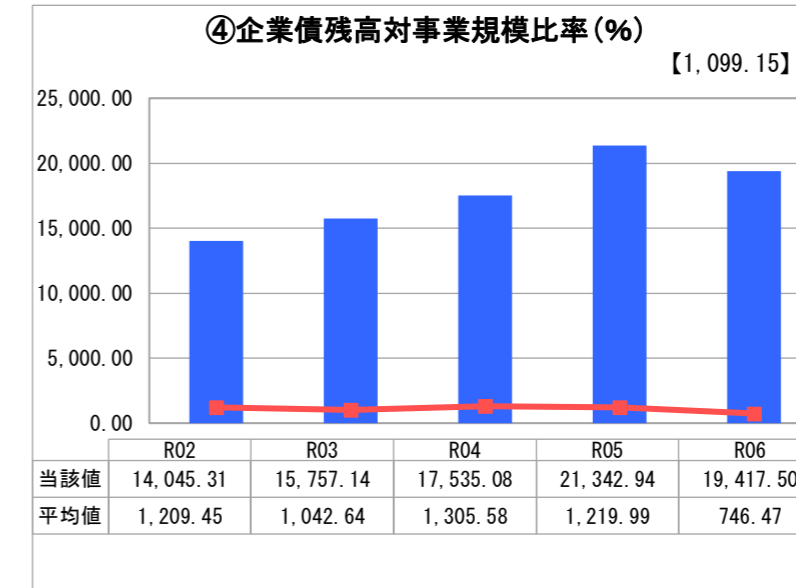
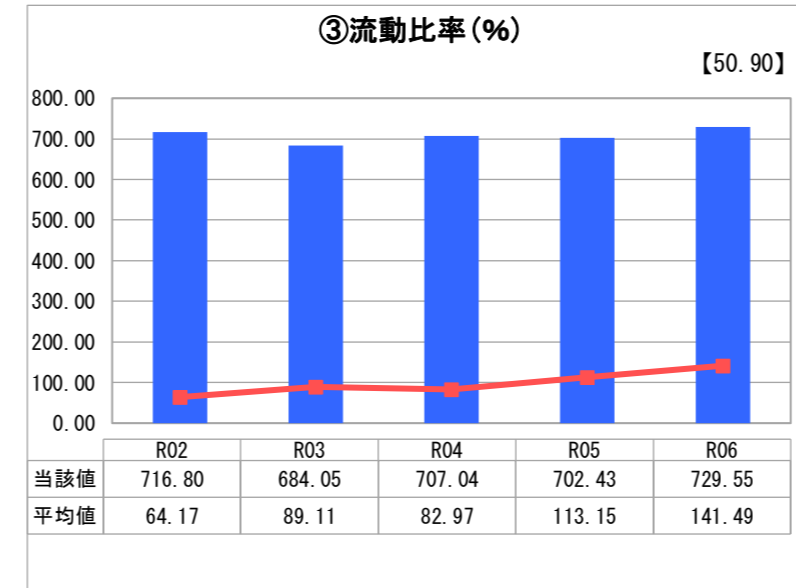
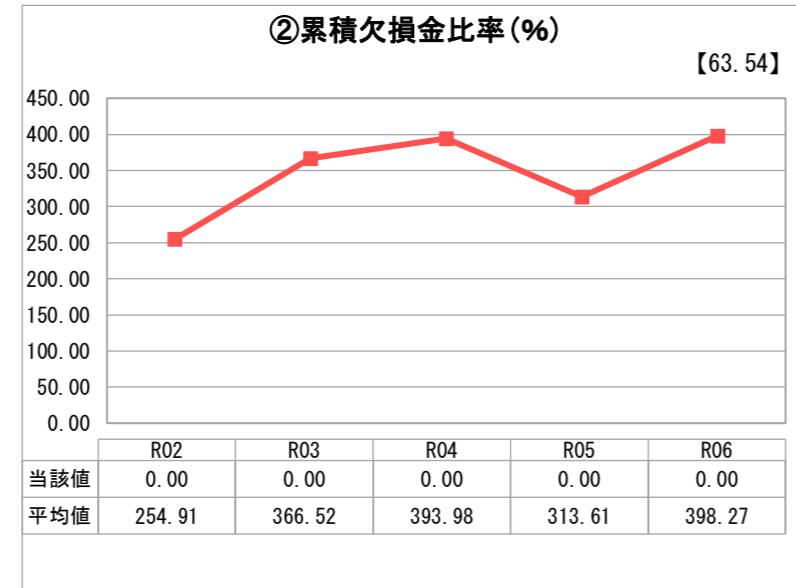
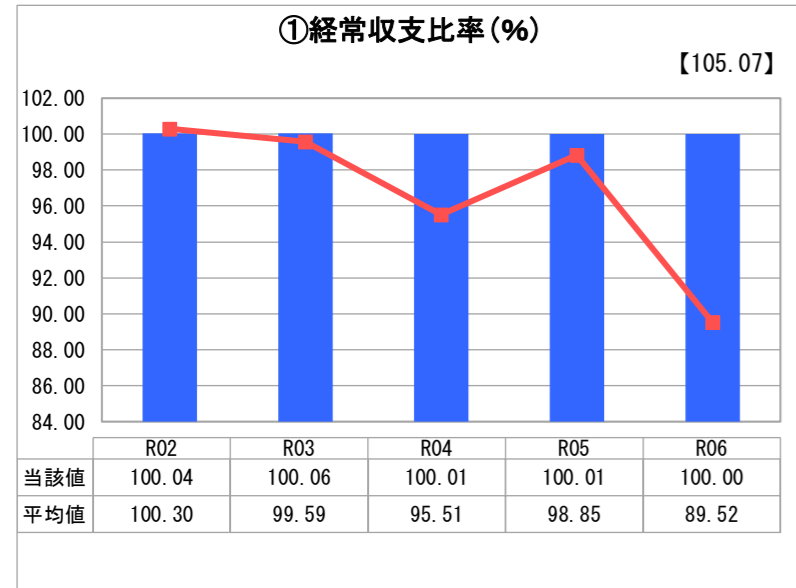
北海道 森町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	55.56	0.33	-	3,400

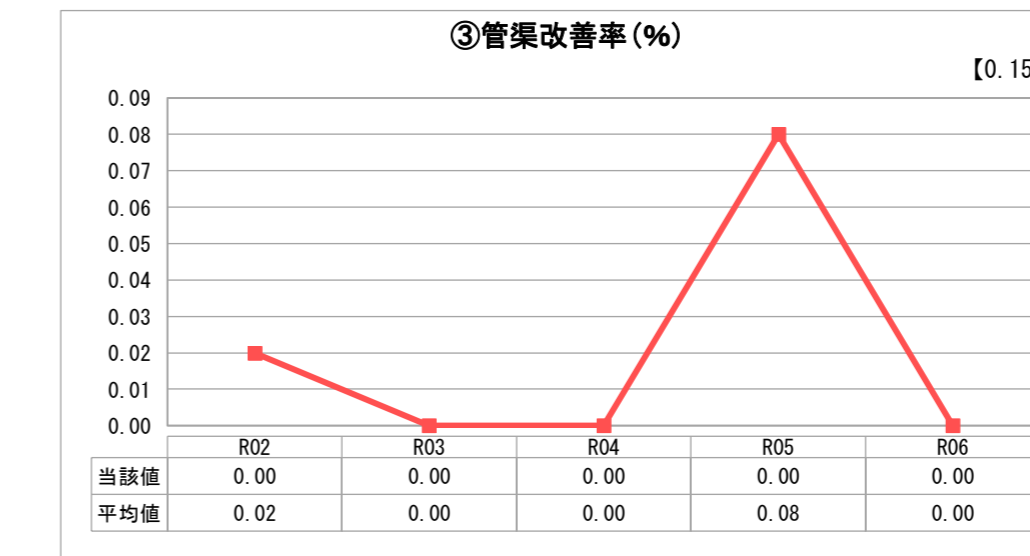
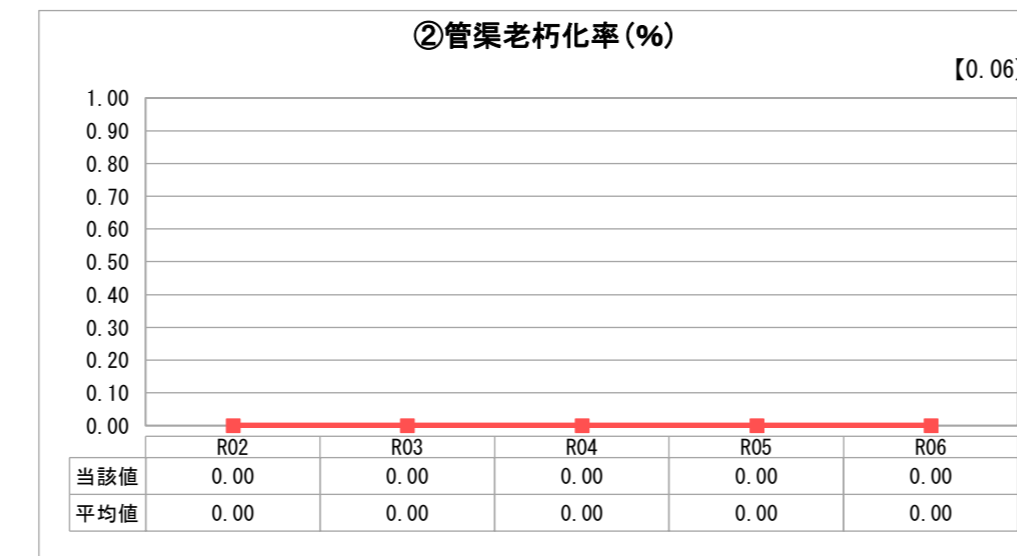
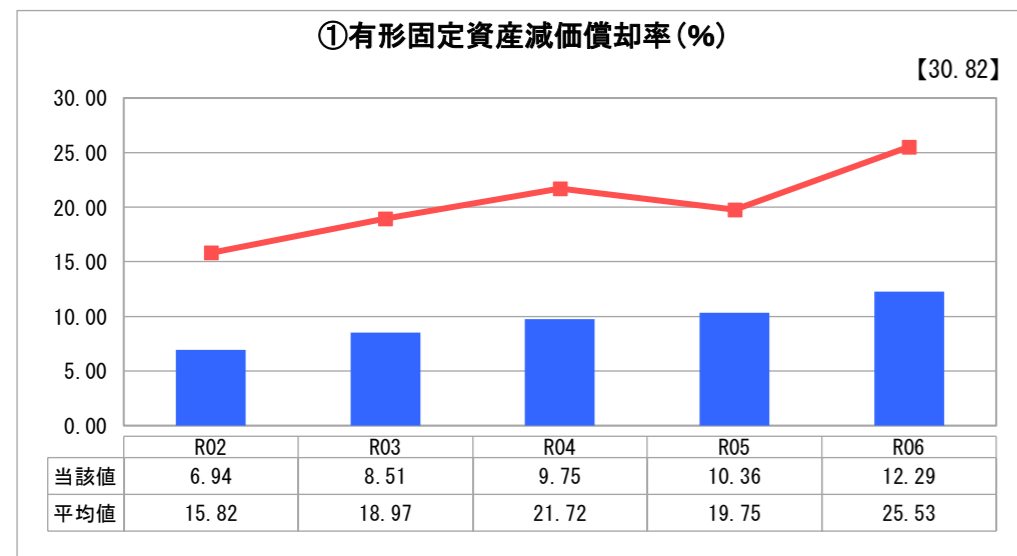
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,582	368.79	36.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
44	0.17	258.82

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、類似団体の平均値を上回っており、単年度収支も100%であり、収支バランスが保たれている。

② 累積欠損金比率は、0%となっており、経営改善が図られている。

③ 流動比率は、類似団体の平均値を上回っているが、今後、企業債の償還が増加するため、注意が必要がある。

④ 企業債残高対事業規模比率は、供用開始から年数が浅いため、普及率が低く整備事業に費やされた企業債残高の割合が高いことから、類似団体の平均値を大きく上回っている。

⑤ 経費回収率は、接続件数が少なく、経費が賄われていないため、類似団体の平均値を下回っている。

⑥ 汚水処理原価は、地理的要因や供用開始年等の要因で有収水量が過少となり、コストが高まっているため、類似団体の平均値を上回っている。

⑦ 施設利用率は、地理的要因から他自治体の処理施設を利用しているため、計上されていない。

⑧ 水洗化率は、前年に比べ減少しており、類似団体の平均値を下回っている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、増加傾向にあるが、供用開始から年数が浅いため、僅かな率となっている。

② 管渠老朽化率は、新設管渠のため、0%となっている。

③ 管渠改善率は、更新した管渠がないため、0%となっている。

全体総括

下水道経営は、供用開始から年数が浅いため、普及率が低い状況にありますが、経営の効率化に努めるとともに、水洗化普及率の向上を目指し、経営の安定化を図りたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。